

【事業者向け】 児童発達支援自己評価表

回答数:11

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			
	2 職員配置数は適切であるか	11			基本は適切。休みがいた場合は調節。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			活動に合わせて環境設定を行っている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11			全体で取り組み、共有する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			今年度は在園児面談の回数が増えている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			11	現在外部評価制度は導入しておりません
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			毎月研修会を行っている
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11			年二回、検査・評価を行った上で計画を立て、面談にて保護者へ詳しく伝えるようにしている
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	11			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			各療育での活動をローテーションで行っている
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	11			

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11			伝え合っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			時々読み返している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	11			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11			市役所と主に連携している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11			今後必要となるので、相互理解と共有を目指して取り組んでいく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11			必ず支援計画書をやりとりすると共に、電話もしくは直接行き来してやりとりを行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11			他機関の研修を受講できる環境を整えている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			11	現在実施していない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			バス送迎の際にもタイミングが合えば伝えている。連絡帳だけでなく、必要であれば電話等で直接情報共有している
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11			保護者向けの講習会を年5回開催している

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			入園説明の際に丁寧に伝わるよう工夫している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			クラスリーダーに相談し、対応や支援を聞いている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11			参加するよう意識している
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11			ダブルチェックを行っている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11			今年度は3回地域公開イベントを実施した
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11			現在さらに細かいマニュアルを検討中
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			月に1～2回避難訓練を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			終礼などで全スタッフに伝え、共有ファイルにも定期的に目を通している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11			現在身体拘束の子どもはいないが、指針等は整備済み